

新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた緊急事態宣言の発令に伴い、様々な経済活動が打撃を受けている昨今。外出自粛や営業自粛要請により、深刻な状況を迎えている店舗が多くあります。

そんな中、クロステラス盛岡館内や周辺にお店を構える方々は今どんなことを考え、行動を起こしているのでしょうか。クロステラス盛岡 1 階の産直ショップ「賢治の大地館」を運営する賢治の土株式会社代表の畠山 武志さんと盛岡市菜園のバー「すいれん」店主の篠原 真理子さんにお集まりいただき、「お店を開く」ことの今とこれからをお聞きしました。

---

<対談者プロフィール>

**三田 林太郎さん**

三田農林株式会社 (クロステラス盛岡) 取締役社長

**畠山 武志さん**

賢治の土株式会社 (賢治の大地館) 代表

クロステラス盛岡 館内にお店を構える産直ショップ「賢治の大地館」。

今年でオープン 11 年目。県内各地の生産者こだわりの農作物や手づくり商品を販売している。

盛岡駅の近隣にあり、車を使わずに訪れられることから、地域の人が多く利用している。

**篠原 真理子さん**

すいれん 店主

盛岡市菜園にお店を構えるバー「すいれん」は、今年の 8 月で開店から 6 年目を迎える。

店主の篠原さんが音楽好きなこともあり、お店ではアコースティックライブなどの音楽イベントを開催している。

**金野 大介さん**

Heg. 主宰 「ポジティブ部」「クリエイティブ部」主将。座右の銘は「野風増で居続けてもいいですか?」

衣料品販売を軸に営みながら、ご縁で繋がった皆様（企業から個人まで幅広く）からのご依頼、ご要望に、

いつも身を乗り出して特攻隊長よろしくお応えしております。 <https://www.hegood.jp/>

---

**三田** 何かを発信しても、世間から批判される可能性もある中で、今回はクロステラスの販促や商品 PR ではなく、

みなさんが感じている『本質』について話がしたいと思っています。

今は情報発信の手段として動画配信をするという選択肢に偏っているように思うのですが、もっと多様な表現を行えないか、

と考えたことも今回みなさんに集まっていたいただいた理由のひとつです。肴町で 100 年以上営業を続けている老舗の若旦那が、

「今の言いたいことが言えない世の中で、これからは 3~4 人の少人数が集まって、物事を動かしていく時代かもしれない」という話をしていて、

共感したというところもあります。みなさんのお話をもとにフリーペーパーを発行することによって、

このエリアで頑張る人たちの次なるアクションに繋がってくれたらと思っています。

**金野** それではまず、みなさん現状どうですか？

**篠原** うちの 4 月 9 日から店舗の営業はお休みしています。今までは基本的に用事がない限り、

お店は休まない決めてやっていたんですけどね。休み中ですが、お店が好きなのでひとりでお店に行ってマスクを縫ったり、

ご飯つくって食べたりして過ごしています。

**三田** この前、昼間に様子を覗きに行ったら、篠原さんからすごい素敵なマスクをいただきました。

もともと服飾の専門学校に行かれていたので、そういったことも得意なんですよ。

**篠原** そうなんです。だからお店にミシンを持ち込んで作っていたんですよ。

**金野** マルチに活動されているんですね。そうすると逆に忙しいんじゃないですか？

**篠原** でも、マスクづくりはもう飽きてきちゃったんですよ。それで「これからどうしようかな」と考えている時に弁当販売のお話をいただきました。

**金野** 盛岡市大通の「コミュニケーションギャラリー リリオ」で行われている、盛岡大通商店街での弁当販売ですね。

その取り組みは、いつから始まったんですか？

**篠原** 5 月 11 日からです。お弁当の食材を仕入れるのに、賢治の大地館さんを利用させていただいています。

季節の食材を販売している産直が近くにあるので助かっています。